



卒業式を実施しました

3月1日（日）

本日 10:00 より、旧制中学から通算して119回目（高校としては72回目）の卒業式を実施しました。在校生や来賓の出席は取りやめとなりましたが、立派な式が挙行できたと自負しています。式の実施に当たって、ご理解とご協力を頂いた保護者をはじめ関係者の皆様に感謝申し上げます。

卒業式 式辞

梅の花がふくよかな香りを運び 春の息吹とともに 本校の象徴でもある 桜の蕾も膨らむ季節となりました

只今 卒業証書を手にした普通科二百八十名の皆さんに心よりお祝い申し上げます

皆さんが 創立百二十二年を数える本校の第百十九回目の卒業生となり 同時に 二万八千六百六十名の為桜同窓生の一員となられたことを喜びたいと思います

また 入学以来三年間 お子様を温かい愛情で支え励まされてきた 保護者の皆様にも お祝い申し上げます これまで 様々なご苦勞や心配事があったことと存じます 本日 高校卒業という大きな節目を迎え 喜びと安堵の気持ちも一入のことと拝察いたします 本当にご苦勞様でした 加えて PTA 活動を中心に 深いご理解とご支援を頂きましたことに 厚く御礼申し上げます

さて 卒業生の皆さんは 為桜学園で過ごした三年間をどの様に振り返っていますか

下妻第一高等学校は 五つの校訓と誠実・剛健・進取の綱領のもと 文武不岐を掲げ 学習と部活動に励み 自らを鍛えることを 諸君に奨励してきました 学生の本分である学習においては 授業はもとより 各種課外や土曜補習 定期試験や課題テスト 模擬試験など 常に真名ことを求められ しっかりと 期待に応えてくれました

部活動においては 目標を定め 努力を惜しまず 地区大会・県大会そして関東大会・全国大会まで めざましい活躍がありました 水海道一高との定期戦においては十連勝という輝かしい記録を打ち立てました 為桜祭や踏破会などを存分に楽



しみ 夏の野球応援で 母校に対する熱い思いをぶつける姿は 青春そのものでした

卒業生の皆さんが 忙しいながらも 豊かな学校生活を送る中で 達成感や感動を味わい 忍耐力や協調性を身につけ 「世界に輝け 為桜学園光プロジェクト」におけるキャリア教育に取り組み 本校教育が目指す 知・徳・体の調和した 総合的な人間力の基礎を築いたことを高く評価します 母校での学びに 大きな自信と誇りを持って下さい

かつて 天才物理学者アインシュタインは 『学校で学んだことを一切忘れてしまったときに なお残っているもの それこそが教育である』と述べています これは 皆さんが 教科書から学んだ知識や技能の価値を認めつつ 学校生活の根底にあるものの大切さを説いているのだと思います

『誰と 何処で どのような時間を過ごしたのか』という『心の奥深くに刻まれた記憶』が人を支え 成長させてくれるのです

先日 ある先輩からの手紙に 「現役時代 しばしば外国を訪問し 要人との会談をした事 (米国国務省、国防総省、ロシア・クレムリンなど) がありますが 気後れしそうになると校歌の一説『立てや筑麓健男児 漲る雄図示すべし』が自然に心の中に響いてきて 自らを励ましたことが何度もありました」 と書かれていました 本校では このように「為桜魂」を発揮して 大きな舞台で活躍されている先輩方が大勢おられます

本校の卒業生となられた皆さんにも ここ為桜学園で培った“学べる力”を“身に込めて”“山なす浪” を乗り越えながら成長することを期待しています

名残は尽きませんが 別れの時が近づいてきました 結びとして 卒業生の皆さんはもとより 本日お集まりの皆様の健康と 益々のご活躍を祈念し 下妻一高がこれからも卒業生の心の拠り所として発展することを約束して式辞といたします

令和二年三月一日

茨城県立下妻第一高等学校長 細野晃一